

活動名 わくわく土曜塾	団体名	長門市中央公民館事業企画運営委員会「わくわく土曜塾」担当
	地域	山口県長門市
	代表者	運営委員長 林 義高
	支援金額	10万円
活動概要		
<p>地域市民の英知と善意を結集して「私たちの公民館づくり」を推進する「長門市中央公民館事業企画運営委員会(民間組織)」の事業の1つとして開催してきた。</p> <p>目的は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①土曜日の子どもの安全・安心の確保</li> <li>②子どもたちの規範意識の醸成</li> <li>③学校教育活動の補完の場</li> <li>④親の子育て支援などである。</li> </ol> <p>平成21年度は年間46講座を開催した。この講座の指導者の中心は、本公民館に集う社会教育関係団体(グループ)であり、公民館で学んだ生涯学習を子どもたちのために生かす活動としてボランティアで実施してきた。(講座によっては外部指導者も加わった)</p> <p>◆実施時期：2009年4月11日(開講式)～2010年3月13日(閉講式) 長門市中央公民館を中心に公園、深川小学校、ルネッサながとの会館などを活用</p> <p>◆参加人数：○コーディネータ延べ 180人 ○講座指導者延べ 60人 ○受講者(塾生) 多様な体験570人・英語125人・囲碁128人・ スポーツ230人 延べ1,056人</p> <p style="text-align: right;">参加総人員 1,293名</p>		



《ソーメン流し》  
(竹で箸とお椀を作ってソーメンを食べる)



《俳句を作る》



《魚料理(いかをさばく)》



《日本の芸術に親しむ(謡曲・詩吟・民謡)》

#### ◆実施に伴う効果

・講座を受け持って指導する側が逆に教えられたり、元気をもらったりで、こんな楽しいことならまたやってみたいと言う人が多くおられた。これらの方々は今後一層ボランティア活動へと向かうことが予想される。

・保護者のアンケート結果などから目的はクリアできていると思っている。指導するグループからも「子どもたちから逆にエネルギーをもらって大変うれしい」と好評であり、この方向からも効果があったと思っている。

・公民館利用団体の皆さんから街中で塾生の方から声を掛けて来てくれたという喜びの声を聞き、顔の見える地域作りに一役買っていると感じられる。

#### ◆苦勞した点

・今年度で3年目を迎えた。『わくわく土曜塾』も認知度が上がり、公民館利用団体に講師をお願いしてもスムーズに快諾を得ることができるようになったが、詩吟、謡曲など講座によっては講師の苦勞もあった。

・第4土曜日のジュニアスポーツはスタッフの数も少ないことから30人の定員で募集したが倍近い希望があった。今年は第3土曜日を家庭の日と考え行なわなかったが、来年度は第3土曜日にもスポーツ系を取り入れたいと思う。

・次回の変更がある時など1ヶ月前から準備をし、なるべくその場でお知らせできるようにした。遅れた時は葉書でお知らせした。

#### ◆今後の課題・発展の方向性

今後も公民館利用の社会教育関係団体と連携し、子供達にいろいろな体験をさせたい。その活動の中で指導者、コーディネーターなど大人を敬うことや一生懸命に取り組むことなどを教え、異年齢との交流の中で自信をつけてくれると期待します。

#### ◆活動を終えての感想・意見等

価値ある取組みとして充実感がある。創業時から3年間支援していただいたおかげで運営等軌道に乗せることができました。

貴財団に感謝しています。ありがとうございました。